

一編集一  
和田広報実行委員会 編集部  
一事務局一  
新南陽市 和田公民館内  
TEL 0834-67-2069

まちづくり懇話会

六年先の入学児童 ひとり? とは

皆で考えよう 和田の活性化

和田地域の活性化を図るにはどのようにしたらよいのか、市長の問いに、去る、七月に発足した「和田地区まちづくり懇話会」は、すでに四回の会を重ねておられます。

今回、会長の小田好美さんに、その様子をお願いいたしました。

和田地区で今年生まれた赤ちゃんはまだ一人です。結婚した若い人、しばらくは町に別居。このままですと、生まれる赤ちゃんはいなくなり、小学校の灯は消えるかも知れません。

藤本市長は、こんな和田を心配して

なんとか活性化を考えてほしいとの願

いで「和田地区まちづくり懇話会」が発足しました。

和田地区を

三つのゾーンに

高瀬地域は、千石岳、ダム、高瀬峡などの観光とレクリエーション。

高瀬茶を中心とした村おこしと特産品の生産拠点に。そして、四季を通じて親しめる観光と特産品のゾーンとして、更に整備発展させる。

地区出身の三人の職員さん、各種団体の中から二十人で、六月二十八日第一回、九月七日には、五回目の会議を開きました。

夏になると川遊びに夢中となり、毎日忙しく暮らすのが、子供達の生活でした。

朝は、早くから「うなぎ」箱をあげなくてはならない。

日中は、このうなぎ箱の餌となるはやを釣らなくてはならない。

島地川の七不思議

その六へあかんた

和田 松田英夫さん

夕方は、この釣り上げたはやを餌として、うなぎ箱をつける。この連続が、子供達の生活の一

米光・馬神地域は、福祉と住居地域として考える。老齢化が進んでいるとき、特別養護老人ホームが本市にも必要だと言われている。

また、若い人の働き場がない当地に是非誘致をお願いする。

そして、若い人たちに住んでもらうために、住宅団地を造成する。

一〇〇戸程度の農園付きというユニークな三世代向けの住宅も併せ考える。

このように和田地区の特性を生かした三つのゾーンに分け、それぞれ必要な施設や整備をはかり、まちづくりを進めることで意見がまとまってきております。

二人千人を割って、なお、減る人口に歯止めがかけられるか。

現在以上の児童数が保てるのだろうか、施設や、道路の整備という「もの」にたよるだけで活性化が図られるであろうか。

一人ひとりが、地域を愛し、村を育てるといふ意識の輪を広げ、高めることが大切だと思います。

皆で考えよう

以上は、懇話会の中間報告ですが地区の皆さんから、こうしたらどうか、こんなことを取り上げたらどうだろうかと言う意見を、和田支所公民館までお寄せ下さい。

衆知を集め、力を合わせて生きいきと開けゆく和田にしたいものです。どうかよろしくお願ひします。



28日 県消防大会

米光消防団 出場

この9月28日(水)県消防学校で開催される、消防操法大会に米光消防団チームが参加します。お仕事を終えて、毎日訓練に取り組まれておりますが、団員の健康をご期待いたします。

出場選手

団長	米光下	林	正	夫
指揮者	米光下	伊ヶ	俊	男
一番員	米光上	本	寛	寛
二番員	"	棟	雄	雄
三番員	"	河	吉	吉
補欠員	米光下	原	誠	誠



和田ライスセンター  
おまかせ下さい  
秋の取り入れ

秋の取り入れが間近となりました。今年も、和田ライスセンターでは、米の取り入れ収穫作業のお手伝いをいたします。——ご希望の方はご連絡下さい。——

- 【調整料金】
- (生) 乾燥・初摺り(1俵当り) 1,980円
  - (干) 乾燥・初摺り( ) 1,080円
  - コンバイン収穫(反当り) 18,000円より
  - 出荷袋づめ加工賃(1俵当り) 200円

この他、各種作業のお手伝いも行います。もち米の加工は、期間の終わりに無料で行います。

一掬がらの入用の方は  
自由にお持ち帰りを

和田ライスセンター  
(代表者 森重徳男) 電話有線 2755  
NTT 2065

一杯の賞品を抱き抱えて家路につきます。この祭も、宮の森に豆力士の声が轟くようになって、参拝する人も増えてきております。



幕が降ろされると、裏方さんたちが作ったおにぎりで腹ごしらえをして、お旅所までもみ歩く、俄みこし、が待っております。そして、日の没る夕方ごろ、子供たちは疲れた様子もなく、両手一杯の賞品を抱き抱えて家路につきます。

る林業として森林組合が中心となつて、地域の方々に生産を呼びかけられております。また、和田地域はシロスギの育成に気象条件が非常に適しており、北山の業者も今後の生産に大変期待を寄せております。



シロスギの造林は、短期に収入が得られ、最後の仕上げが行われて、丸太市場を経て全国の消費地に旅立って行きます。



育てて十年 シロスギの生産  
本場の『北山』へ初出荷  
和田の地に育って十年、ようやくシロスギの小丸太の出荷が始まりました。

タルキ用の細い磨き丸太が、まとまって生産されるのは今年が最初です。収穫は、七月下旬頃より行われております。山から切り出されたシロスギの木、荒皮を剥がされ、よく陽の当たる場所に立て掛けられては乾燥が行われております。

故郷の思い出に子供相撲大会

米光の伝説行事

9月1日現在、和田地区に住まいされている90才以上のお方は15名です。明治の中頃のご誕生で明治、大正、昭和と90余年間の生涯を積んでこられました。その間、世の中の変遷は無論、幾多の生活の知恵を身につけておられます。今後、ますますお元気で、皆の生き字引として、宝としてご長寿を心からお祈りします。

長寿おめでとうございます

- |     |            |
|-----|------------|
| 大崩  | 有井近蔵(九十三)  |
| 秋字明 | 茅原ヨシノ(九十二) |
| 巢山  | 有井キクコ( )   |
| 大原  | 佐藤セツ(九十)   |
| 原赤  | 山縣ヨ子( )    |
| 升谷  | 兼重クマ(九十三)  |
| 米光上 | 近棟キヌ(九十)   |
| "   | 中村イト(九十三)  |
| 大谷  | 宮田徳吉(九十五)  |
| "   | 宮本フイ(九十二)  |
| 西広沢 | 山本マチ(九十三)  |
| 田戸  | 山崎キイ(百)    |
| "   | 山本義式(九十二)  |
| "   | 渡辺嘉十(九十二)  |
| "   | 渡辺サヨ( )    |

向う一ヶ月の行事計画

- 九月十五日(祭) 少年野球近郊大会 市民球場
- 二十日(火) 老人クラブ社会奉仕の日 全域
- 日( ) 和田小・中予行運動会 和田小中
- 二十一日(水) 交通安全健民運動(三十日迄)
- 二十五日(日) 和田小・中学校運動会 和田小中
- 十月 二日(日) つくし園運動会 馬神
- 四日(火) 婦人会分区長集会 和田公民館
- 五日(水) 市老人スポーツ大会 市民球場
- 十日(祭) 市民スポーツ祭 市民球場
- 日( ) 米光子供会相撲大会 河内神社
- 十三日(木) 県老人スポーツ大会 山口市
- 十四日(金) 中学新人体育大会
- 十六日(日) 第七回高瀬湖まつり
- 三十日(日) 第六回和田地区総合まつり

『辣椒花』は唐辛子のように赤く咲く花のことです。酷暑の重慶の象徴にもと、本の題名にしました。

重慶の生活は大変新鮮で、目に触れるもの総てが好奇心と感動を呼ぶものであった。

近日 歌文集 『辣椒花』の出版

米光下 宮本博子さん  
高温多湿の苦しさに加え、食事の違いに困らされた。不自由な外国生活であったが中国の人々の温かい心にふれ、珍しい風物に接するほど、未知のものに出会う

楽しさを、歌と随筆で綴り続けることができた。三年間の中国生活をまとめたこの本で、中国の姿や、また、人々の心が少しでもお伝えできれば幸いである。